

事業所名 のびのび

公表:令和2年3月30日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切であるか	○			療育室に物を置 かない	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			働きやすい職場 環境作りに心が けている	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっているか。また、障がいの特性に応 じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされているか	○			敷居等を無くしフ ラットにしている	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっているか。また、子ども達の活動に合わせ た空間となっているか	○			換気に気を付け る天井を高くし圧 迫感を軽減してい る	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			報告連絡相談の 徹底	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して 事業所の評価を実施するとともに、保護者等の 意向等を把握し、業務改善につなげているか		○			年に一回自己評価を実施 し適正な運営を行なってい く
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表 の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行う とともに、その結果による支援の質の評価及び 改善の内容を、事業所の会報やホームページ 等で公開しているか		○			年に一度自己評価を実施 し安心安全な事業所作り を行なっていく
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業 務改善につなげているか		○			積極的に取り組んでいく
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保しているか	○				毎月一回報告会を実施し ていく
適切な支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童 発達支援計画を作成しているか		○		六ヶ月に一度の 面談を実施してい る	作成計画を作り適正に支 援実施していく
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用しているか	○				行政マニュアルを活用し実 施している
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発 達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支 援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの 支援に必要な項目が適切に選択され、その上 で、具体的な支援内容が設定されているか	○				担当者会議の実施を提案 していく

	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか		○		計画表を作成し丁寧に実施する	予定表作成継続していく	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			マンネリ化を予防している	保育士・児童指導員が月間活動計画を作成していく	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			飽きがないように毎週メニューの交換をしている	保育士・児童指導員が月間活動計画を作成していく	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			季節ごとに行事を実施し楽しさを体験してもらう		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				継続して毎朝MTを実施していく	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				継続して毎朝MTを実施していく	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎朝MT時での確認	継続して毎朝MTを実施していく	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			MT時に支援内容の確認を行っている	継続して毎朝MTを実施していく	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				児童担任と児発管2名が参加していく	
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				研修会に積極的に参加し取り組んでいく	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	—			
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	—			
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○			今後積極的に地域との連携を図り情報の共有と相互理解につとめる
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○			個別支援計画など共有を図り情報提供し連携しながら支援を行っていく
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○					協議会の研修へ参加していく
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか				○		嫌がる家族がいるため調整していく

	②⑨ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○			地域と連携し情報を収集し積極的に参加していく
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳を利用しお互いに情報の共有を図り個別支援計画に反映している	
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○			研修会に参加し対応力を身に付け家族支援を実施していく
	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				年二回の面談時に丁寧に説明していく
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			担当者会議、学校の三者面談に同席し支援内容を作成し年二回同意を得る	
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や連絡帳を利用しお互いに情報の共有を図っている	
保護者への説明責任等	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の集まるイベントを開催し親睦を図っている	
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			面談の日程を確認し迅速に対応している	
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動概要、行事予定などについて月刊通信を発行している	
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			鍵のかかる書庫で管理している	
	③⑲ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時や連絡帳を利用しお互いに情報の共有を図っている	
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○				老健施設に児童が制作した作品をプレゼント企画を実施していく
	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			毎年2回定期的に訓練を実施している	
非常時等の対応	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎年2回定期的に訓練を実施している	
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			年2回の面談時に確認を実施している	

④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			服薬、エピペン処方の訓練等を実施し対応に備えている	
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を作成しMT時に発表し共有している	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修参加や行政マニュアルを活用し適切な対応を心掛けている	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			年二回の面談時に丁寧に説明し同意を得て、個別支援計画作成している	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。